

528万7,855筆を力に「学費の無償化」の実現を!!

2月15日の院内集会では、神奈川：年収590万円未満世帯、大分：年収350万円未満世帯での「授業料無償化」実現、大分での上乗せ分全額県費負担という前進が大きく取り上げられました。自治体間格差を解消するために、も国の就学支援金拡充が、参加者、議員あいさつで訴えられる集会となりました。



永島共同代表右
古川共同代表左

全国私学助成をすすめる会共同代表の古川さんは、主催者あいさつにおいて「神奈川と大分で、授業料無償化が前進した。その流れが全国に広がるよう、国会議員のみなさんにもお力添えをお願いしたい」と最新の情勢に触れて主催者あいさつをされました。続いて永島共同代表は「これまでの4億筆を超える署名の積み重ねが全国の無償化の前進を築いてきた。大分では授業料補助学園負担分50%を廃止したが、全国でまだ7県でこの学園負担が残っている。こうした自治体格差を解消していくためにも、施設設備費などの保護者負担を解消する拡充など新たな峰をめざして運動をすすめよう」と、集会の基調を報告しました。

議員からも力強い発言がつつく

残念ながらご公務で退出された方をのぞく22名の議員からも、私学の学費負担解消をめざす力強い発言がつつきました。夏の高校生1万人アンケート記述欄を引用して発言される議員、ご自身のお子さんを私学で学ばせておられ、学費負担の大変さを訴える議員、ご自身が私学出身で高校生フェスの取り組みに参加しておられた経験をお話される議員、妻が父母懇に参加されていらっしやると語られた議員、私学の自由の確保のためにも助成金の拡充をと訴えられる議員、永島代表の基調に触れて、学園負担をなくすなど国と県との協力で私学助成を拡充させる事を訴える議員など、わたくしたちの運動を理解し共同を宣言して下さる力強い発言がつつきました。

議員を前に、実態、到達点を訴える

昼休み集会ということもあり10名を超える議員の方が、あいさつ後も会場に残って下さいました。その議員さんを前に、宮城から参加して下さった父母から発言がありました。「公立高校だけが学校ではなく、子どもが学びたい学校が私学という事はある。子どもが望んだ学校で学べる世の中にするために頑張りましょう」と参加者、そして議員に呼びかけました。



つづいて神奈川県私学助成をすすめる会代表の長谷川代表から、神奈川での年収590万円未満世帯の授業料無償化実現の報告がありました。

昨年の東京の年収760万円未満世帯授業料無償化の流れを神奈川のために、2017年あらゆる取り組みを展開した事が報告されました。



宮城すすめる会 太田さん



神奈川 長谷川さん



ごあいさつくださった国会議員のみなさん(上段左から)古賀之士議員、山下芳生議員、伊東孝恵議員、畑野君枝議員、大島九州男議員
(2段目左から)木戸口英司議員、磯崎仁彦議員、山添拓議員、矢上雅義議員、岩淵友議員、
(3段目左から)重徳和彦議員、古川元久議員、三宅伸吾議員、吉良よし子議員、西岡英子議員、
(4段目左から)福島みずほ議員、今枝宗一郎議員、松田功議員、牧山ひろえ議員、武田良介議員
(下段目 左から)里見隆治議員、大見正議員